

AHW023-P08

会場: コンベンションホール

時間: 5月25日 16:15-18:45

安定同位体比とトリチウム濃度からみた伊洛河盆地の地下水流動系について Groundwater flow system of the Yiluo River Basin from the tritium and stable isotopes ratios

趙培^{1*}
pei zhao^{1*}

¹ 立正大・院・環境システム学

¹ Graduate School, Univ. Risscho

安定同位体比とトリチウム濃度からみた伊洛河盆地の地下水流動系について
Groundwater flow system of the Yiluo River Basin from the tritium and stable isotopes ratios

趙培 [1]

Pei Zhao[1]

[1] 立正大・院・環境システム学

[1] Graduate School, Univ. Risscho

本研究では、中国の伊洛河盆地の地下水流動系を明らかにすることを目的として、地下水や河川水などのトリチウム濃度および安定同位体比の測定を行った。その結果、以下のことが明らかになった。

(1) 地下水の水素・酸素安定同位体比の測定結果による、全体として、盆地の周辺山地部の地下水の同位体比の値は低く、また軽く、盆地中央部の地下水は高い値、すなわち重い傾向が認められた。また、下流部（盆地東部）においては、盆地南東部の山地から D 値と ^{18}O 値の低い軽い水が盆地底方向に流れ込んできていることが明らかになった。

(2) 地下水のトリチウム濃度の測定結果による、盆地周辺部における地下水の年代は 50 年以下の地下水である可能性が高い。伊河の上流部の地下水では 60 年以上の古い地下水、ほとんど動いていない地下水であることが推定された。下流部の地下水は上流側の地下水よりも、古い地下水であることが明らかになった。

キーワード: トリチウム濃度, 安定同位体比, 地下水流動, 伊洛河盆地

Keywords: tritium concentration, stable isotopic ratios, groundwater flow system, The Yiluo River Basin